

「名札も着け
ないやつは」
と助勤者を虫ケラ扱い

連別如反動松田(人事)糾弾 の張り反動松田(人事)糾弾

全組合員のみなさん！われわれは、千葉鉄道管理局・松田人事課長の暴言・暴挙を断じて許すわけには行かない。松田課長は、何と、駅助勤にでているわが組合員を「不良品」「できが悪い」などと品物あつかいし、ひぼうし、あげくに、「不良品を使うわけにはゆかない、過員として区に帰つてもらう」と言いなし、十一月十八日付で八名の組合員の助勤解除を強行しようとしている。こんなことをやられ、言われて黙つていられるか。

奴隸になれと

強制する反動松田

松田課長の暴言は、まさに当局の本性を暴露したものだ。当局は、われわれ労働者を人間だなんてこれっぽっちも思っていないのだ。

「（動労千葉の組合員は）商品価値からいえば不良品だ」「服装は乱れ、名札は着けない、注意指導に従わない、など全くできが悪い」だと！ふざけるだから優良でできが良いと思い上がり労働者を見下している腐りきった心情がありありだ。

そなへかりか、「賃金を払つてゐる
んだからどう使おうが当局の勝手」と
いうのだ。俺たちは奴隸じやない。
われわれは、各職名があり、交渉で
決められた労働条件で仕事をすること
で契約しているんだ。「どう使おうが
勝手」というなら団交も協約も労基法
だつていらない。

これを百も承知で居直り 暴言を叶
く反動松田人事課長を絶対に許すな。

労働者を

駆助勤問題は、交渉で決めた業務内容、期間を当局が一方的に無視したのが原因だ。

名札、ネクタイで難クセをつけ、凩分を强行し、組合員を差別、選別して期限が来ても帰さない。それでも届しないと見るや、今度は「不良品」だから8名を区に帰すとは何事だ。

許しはしない。
全組合員の怒りを反動松田課長に叩き付けよ！

関係支部はもちろんのこと、全支部の力で駅助勤者を守りぬき、十一月ストライキへ断固進撃しよう！

松田よ、われわれの我慢にも限度があることを知るべきだ。族
なまいきな態度で労働者を見下し、家
団交確認を全て反古にした上で、処分員
を乱発しそれで通ると思つたら大まち合
がいだ。

助勤者を守りぬき
十一月ストへ

十一月ストヘ

直し（八十五一七十五）は労働条件の変更ではないから団交事案ではない」とふざけきった態度をとっている。せらすと業務量が減つていないので要員を減碎らすと言うことは労働強化であり重大粉な労働条件の変更ではないか。

さらに、区に帰す8名は過員であり「過員を、センターに送ろうが、どう活用しようが当局の勝手」と、まさに破局に屈服しない労働者を見せしめに織り、虫ケラのごとく扱い、二重三重の組処分をもって屈服させんとしている。結果

限について「前任者が仕切ったのだから私は知らない」と居直り、現行八十一名になるが補充はしない、「要員の見

國鉄千葉動力車労働組合

85. 11. 15

日刊 動 物 写 真